

錦秋の美しい自然に囲まれた
京都に住む喜びを感じる時期に
なった。

もちろん、春の桜が美しくき
れいなことは言うまでもない。
桜は出会いや出発、そして芽生
えを予感させる前向きの花だと
思う。

そして紅葉は、これから冬に
向かう別れにも似た雰囲気の状態
態かもしれない。事実、桜が終
わると青々とした新芽が出てく
るが、紅葉の後には枯れ葉となり

錦秋京都の晴れ舞台楽しむ

公務員 田中正一 35

散ってしまふ。

ところが私には、桜が花びら
の散る別れのイメージに、秋の
紅葉は「これでもか」と、真っ
赤や黄色に染まる木々が主張す
る晴れ舞台のイメージになるの
だ。そして冬を越し、やがて来
る春に向かって新しい芽が生え
る準備をするのだ、と思う。

さあ、今年もこの大自然の贈
り物を、思う存分楽しませてい
ただきましよう。

(京都市下京区)